

日本庭園「見浜園」を舞台に、14組の気鋭アーティストによる  
夜間限定の展覧会『生態系へのジャックイン展』を開催！  
会期は7月24日（土）から8月8日（日）まで。



思考実験とプロトタイピングを通して、ありうる都市の形を探求するリサーチチーム「METACITY（メタシティ）」が企画する初の展覧会。

夜の日本庭園を舞台に、現代アートやメディアアート分野で注目を集める新進気鋭の若手アーティスト14組の作品を茶の湯のプロセスになぞらえて展示します。

文化芸術を育む都市の形を研究する一般社団法人METACITY推進協議会は、2021年7月24日（土）から8月8日（日）までの15日間（※8月2日は休館日）、千葉県千葉市の日本庭園「見浜園」を舞台に、「千の葉の芸術祭」のプログラムとして、夜間限定の展覧会『生態系へのジャックイン展』を開催いたします。本展は日本庭園という、自然を人為的に再構成することで本来以上の意味を創造する拡張環境を舞台に、自然と技術とアートの結節点となる作品たちを茶の湯のプロセスになぞらえて配置します。夜の帳が下りた庭園を回遊しながら、景観とともに作品を鑑賞することで、自分を取り囲む生態系を再発見する展覧会です。

#### 開催概要

#### 『生態系へのジャックイン展』

会期： 2021年7月24日（土）～8月8日（日） ※8月2日（月）休館日（見浜園は通常営業）

時間： 18：00 - 21：00 （最終入場 20：30）

会場： 日本庭園「見浜園」（千葉県千葉市美浜区ひび野 2-116）

交通アクセス： JR 京葉線「海浜幕張」駅南口より徒歩約 10 分

入場料： 無料（事前予約制）

Web サイト： <https://2021.metacity.jp>

## 『生態系へのジャックイン展』コンセプト

伝説的 SF 小説『ニューロマンサー』は千葉の空を見上げるシーンから始まりました。サイバースペースへとジャックインする主人公たちの姿はどことなく、都市計画とインターネットという二重のグリッドに囚われた今のわたしたちに似ています。そこは無限に広がっているようでどこか寂しい、人間だけの世界です。わたしたちはいかにして多様な生物／無生物がひしめく世界へと帰還できるのでしょうか？

かつて、地球規模で互いの思考が接続されることで人間は形而上学的な知識の生態系“*Noosphere* (ノウアスフィア | 精神圏)”の中に住まうようになる、と言われました。生物ごとの多様な世界の捉え方が明らかになりつつある今、わたしたちは人間だけに留まらないあらたな *Noosphere* を描きだせるのではないのでしょうか？

本展は日本庭園という、自然を人為的に再構成することで本来以上の意味を創造する拡張環境を舞台に、自然と技術とアートの結節点となる作品たちを茶の湯のプロセスになぞらえて配置します。そこは理想化された電腦空間でも素朴な自然世界でもない、様々な認知世界が響き合う場であり、同時に茶の湯が追い求めてきた幽玄の思想を継ぐものとなるはずです。

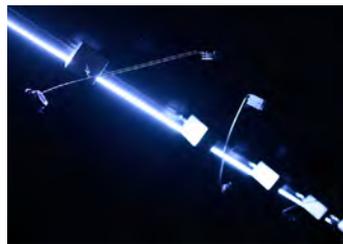
互いの認知世界を交換し、交感し、交歓しあう、あらたなる生態系へようこそ。

## 出展アーティスト

現代アーティストやサウンドアーティスト、映像作家、建築家、研究者、SF 作家など様々な分野で活躍する気鋭のアーティストが集結します。



石川 将也



ALTERNATIVE MACHINE



後藤 映則



齋藤 帆奈



The TEA-ROOM



関野 らん



滝戸 ドリタ



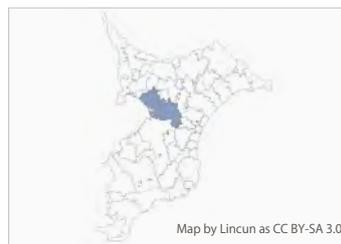
田中浩也研究室 + METACITY



多層都市「幕張市」



田中 堅大



Dead Channel JP



ノガミ カツキ



松田 将英



Ray Kunimoto

※作品画像はイメージです。

## 展覧会のみどころ

### 1. 伝統文化×新しい文化の発信

メディアアートや現代アート分野の若手アーティストたちが、日本の総合芸術ともいえる「茶の湯」のプロセスになぞらえて作品を展示します。

### 2. 「自然」と「人為」が混ざりあった日本庭園を舞台にした回遊型の鑑賞体験

幕張にある 1.6ha の日本庭園「見浜園」を舞台に、自然と技術とアートの結節点となる作品を、園内を回遊しながら鑑賞します。

### 3. 日暮れとともに始まる夜間限定の展覧会

美しくライトアップされた夜の庭園の景観とともに、茶の湯のプロセスになぞらえて配置された作品を巡り、心身ともに没入しながら作品を堪能することができます。

## 『METACITY』について

芸術文化を豊かな未来を創造するために必要な社会インフラとして捉え、従来の都市設計とは異なる考え方で、芸術文化を育み続ける「ありうる都市」を思考実験とプロトタイピングを通して探求するリサーチチーム。

2018年から活動を開始し、2020年6月に一般社団法人化。現在、茶の湯のアート集団「The TEA-ROOM」、雑誌「WIRED」、エンジニア集団「CARTIVATOR」、4D ファブリケーションラボ「田中浩也研究室」、都市研究の研究室「MIT Media Lab City Science Group」とそれぞれ協働プロジェクトを実施し、40名ほどのアーティストや研究者やエンジニアが活動しています。

Web サイト	<a href="https://metacity.jp">https://metacity.jp</a>
Facebook	<a href="https://www.facebook.com/METACITY.JP">https://www.facebook.com/METACITY.JP</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/metacity.jp/">https://www.instagram.com/metacity.jp/</a>
Twitter	<a href="https://twitter.com/metacity_jp">https://twitter.com/metacity_jp</a>



## 『千の葉の芸術祭』について

千の葉の芸術祭は、写真表現に触れることを通して私たちの世界を捉えなおす「写真芸術展」、伝統的文化とその革新へ挑戦的に取り組む「伝統文化・新しい文化の発信」、感じながら考え、創造することについて学ぶ場「体験・創造ワークショップ」の3部門で構成される、千葉市で初めて行われる芸術祭です。

『生態系へのジャックイン展』は、『千の葉の芸術祭』のプログラムとして開催します。



## 『見浜園』について

「日本の伝統的文化を表現し、接してもらうこと」を目的としてつくられ、国内外を問わず様々な方に日本の伝統文化に親しんでいただける面積約 1.6ha の日本庭園です。池泉回遊式庭園で、山や川、海、林などが表現されており、歩きながら、四季折々に変化する景観の自然美を満喫できます。下の池には舟着や洲浜、出島・中島、橋が配され、また周囲にはあずまや、築山や園路など様々な意匠が施されています。園内には数奇屋造りの茶室「松籟亭（しょうらいてい）」があります。



### 【生態系へのジャックイン展に関する取材・お問合せ】

一般社団法人 METACITY 推進協議会 (担当: 瀬賀) Email: pr@metacity.jp

### 【千の葉の芸術祭に関するお問合せ】

千の葉の芸術祭実行委員会事務局 (千葉市市民局生活文化スポーツ部文化振興課内)  
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 (千葉市役所8階) Email: bunka.CIL@city.chiba.lg.jp Tel: 043-245-5961

### 【広報画像のダウンロード】

プレスリリース内で使われている画像は下記の URL よりダウンロードできます。  
[http://bit.ly/jackinto\\_PR](http://bit.ly/jackinto_PR)